

地域医療連携課 のご案内

当院では地域の先生方との地域医療連携を密にし、ホスピタリティをもって医療の質向上・患者サービスに努めております。

■ 地域医療連携課の主な業務内容のご案内

- ・紹介患者さんの予約調整
- ・退院支援・転退院患者さんの調整
- ・各種検査依頼の予約調整
- ・紹介入院患者さんの調整
- ・紹介状・返書の管理
- ・セカンドオピニオンの受付・調整
- ・連携室だよりの発行
- ・信州メディカルネットの運用・管理

■ 体制

課長	三浦 英樹
看護師（主任）	児玉 祐子
MSW（社会福祉士）	木島 貴宏
事務	山崎 裕美
事務	今井 美早紀

■ 業務時間

平日 8:30~17:00 土曜日（第1・第3）8:30~12:30

平成29年度の地域医療連携課は、課長1名、看護師1名、MSW1名、事務2名の5名体制です。地域医療連携の窓口として対応させていただきますので、お気軽にご連絡・ご相談いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

新規！病診連携登録医

おかげさまで、当院の連携登録医制度に、下記の先生方に新規お申し込みをいただきましたのでご紹介いたします。今後末永いお付き合いをよろしくお願いいたします。（8月末現在、病診連携登録医数 91 施設）

No.	医院・施設名	医師名	登録月
①	丸山歯科クリニック	丸山 久雄 先生	2017年 1月
②	鳥羽医院	鳥羽 憲二 先生	2017年 1月
③	赤津整形外科クリニック	赤津 昇 先生	2017年 2月
④	最上整形外科クリニック	最上 祐二 先生	2017年 7月

『病診連携登録医募集のご案内』（地域の医療機関の先生方へ）

当院では、患者さんを中心とした地域医療を円滑に推進するため、地域の医療機関の先生方のご支援・ご協力をいただきながら、地域医療連携をさらに充実・発展・密なものとするべく『病診連携登録医制度』を設けております。詳しくは、地域医療連携課へお気軽にお問い合わせください。 担当：三浦

患者さんのご紹介等に関するお問い合わせ・ご要望は、地域医療連携課で承っております。

北アルプス医療センター あづみ病院 地域医療連携課

TEL(直通) 0261-61-1455、FAX(直通) 0261-61-1456

E-mail renkei@azumi-ghp.jp

受付時間 平日 8時30分～17時、土曜日 8時30分～12時30分（診療日に限ります）



連携室だより

2017年8月発行 JA長野厚生連 北アルプス医療センター あづみ病院 〒399-8695 北安曇郡池田町大字池田 3207-1 編集発行/地域医療連携課 TEL 0261-61-1455 FAX 0261-61-1456

連携室だより

CONTENTS

地域連携懇話会

新任医師紹介

習熟リハビリテーションのご紹介

地域医療連携課のご案内

新規！病診連携登録医



北アルプス医療センター あづみ病院 地域医療連携課

〈写真：本館3階 心臓リハビリテーション室〉

60

August 2017

第51回

地域連携懇話会



平成 29 年 6 月 1 日 18:30 -
あづみ病院 本館 7 階 やまなみホール
在宅・看護・救急に役立つ！エコーの活用法
在宅支援科部長 兼 地域医療部長
千葉 裕 先生



新任医師紹介



木全 博己

(きまた ひろき)

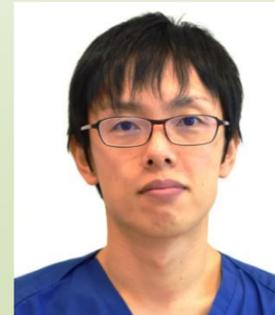
消化器内科

出身大学
専門医等
所属学会

- ◆ 神戸大学医学部（昭和 53 年卒）
- ◆ 日本医師会認定産業医

◆ 平成 29 年 6 月より内科に勤務させていただいております木全（きまた）です。関西育ちで神戸大学卒業後も附属病院や兵庫県内の病院で消化器外科医として勤務をしておりました。阪神大震災をその中心部分で経験。それを機に尼崎市の一開業医として地域の初期医療に携わって参りました。が、学生時代からの夢であった信州の山あいで暮らすを実現すべく、年齢 60 を前には何とかと・・・四苦八苦！

やっとこさ、北アルプスを眺めながらの生活を始めることができました。今後は些かでも地域の皆さまのお役に立てればと思っております。どうかよろしくお願いいたします。



磯部 文洋

(いそべ ふみひろ)

整形外科

出身大学
専門医等
所属学会

- ◆ 浜松医科大学（平成 24 年卒）
- ◆ 日本整形外科学会
- ◆ 中部日本整形外科災害外科学会
- ◆ 日本手外科学会
- ◆ 日本肘関節学会
- ◆ 日本脊椎脊髄病学会

◆ 7 月から整形外科医として赴任した磯部文洋と申します。出身は静岡県、富士山の麓になります。卒後初期研修は佐久総合病院で行い、松本地域で整形外科医として勤務しておりました。趣味はスキー、スノーボード、釣り、沢下りなどです。

骨折などの外傷診療を中心に、整形外科医として大北地域の医療に貢献できるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。

腎臓リハビリテーション(腎リハ)のご紹介

腎リハとは、腎疾患患者に対して症状の緩和や生命予後改善のために行われるリハビリのことで、運動療法に加え栄養療法や精神的ケアなども含めた包括的なプログラムを指します。

これまでは慢性腎不全患者は運動すると腎機能が悪化するとされ運動を制限されることが多くありました。しかし近年では適度な運動は腎機能を悪化させることなく運動耐容能や QOL (Quality of life: 生活の質) の向上、糖・脂質代謝の改善などのメリットをもたらすという報告がなされてきています。さらに運動習慣がある患者では死亡率が低く、透析への移行も遅くなっていったという報告もされており注目を集めている分野です。我々も透析患者さんの透析中運動療法を中心に腎リハに関わらせていただいております。今後腎疾患患者さんの QOL の向上、予後の改善のための一助となればと考えています。

(リハビリテーション科 永富 丈博)



〔リハビリテーション室〕

〔透析室でのリハビリ〕

6 月 1 日、第 51 回あづみ病院地域連携懇話会を開催しました。地域連携ディスカッション、新任医師紹介に続いて、今回は当院在宅支援科部長兼地域医療部長の千葉 裕(ちば ゆたか)先生から「在宅・看護・救急に役立つ！エコーの活用法 ポケットエコーを使いこなしてみませんか？」と題してご講演をいただきました。

エコーを活用して、膀胱瘤・尿路感染症・胆嚢ポリープなどの症例をわかりやすく説明をしていただき、また手軽に持ち運びのできるポケットエコーの導入により、救急現場においてその場で活用でき、診断にも有用であることがわかりました。

講演後は院内外の医師から質問をいただき、充実した情報交換の場となりました。次回は 9 月開催を予定しておりますので大勢の先生方の参加をお待ちしております。

地域医療連携課 山崎
(出席者数：院内外合わせて 53 名)